

教 教育実習（事前・事後指導）

担当複数

Teaching Practice (Lecture-type)

担当教員：今井 文俊、戸川 点、早川 信一、三木 健詞、佐野 正俊

科目ナンバリング：UTL-3-321-01

**■授業の目的及び到達目標**

本授業の目的は、教育実習に向けて、これまでに学んできた教職に関する科目の学修成果をもとに、教育実習生としてふさわしい心構えや知識、指導力の基礎を身につけることである。教師としての意欲、使命感などの基本姿勢、学習指導・生徒指導の基礎的知識・技能、実践的指導力の基礎を發揮して、実習校で教育実習生として円滑に実習ができるようにすることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 教育実習事前指導の意義
教育実習の意義・目標を理解し、最近の教育改革の議論や教育委員会が打ち出す教員像などを踏まえて、教育実習生としての心構えを理解する。
- 2 教員の職務と服務
学校組織の概要を把握したうえで、教育活動の根拠となる教育関連の主な法規を踏まえて、教員の職務と服務を理解する。
- 3 教育実習の内容と方法
授業・HRの観察、教職員の職務の観察、教科の授業・特別の教科道徳・総合的な学習の時間・特別活動など実際の指導の観察、ICT機器の操作・活用などを、具体的な場面を通して理解する。
- 4 教職経験者からの講話
教職経験者を講師に招き、現場で求められる教育実習生の態度や実習中の留意点などについて理解する。
- 5 学習指導案の作成・模擬授業演習(1)
特定の単元を取り上げて学習指導案を作成するとともに、それをもとに模擬授業を実践し、相互評価を通じて授業実践力の基礎を確認する。
- 6 模擬授業演習(2)・学修の総括
作成した学習指導案をもとに模擬授業を実践し、相互評価と公表を通じて授業実践力の基礎を確認するとともに、学期試験及びフィードバックとしての解説を行い、3年次の学修を振り返る。
- 7 実習に向けた模擬授業演習(1)
教育実習で担当する教科・単元内容で作成した学習指導案をもとに、より実践的な模擬授業を実施し、授業実践の基礎を確認する。相互評価では、指導目標を反映した授業展開の仕方や学習意欲の喚起の工夫に着目する。
- 8 実習に向けた模擬授業演習(2)
教育実習で担当する教科・単元内容で作成した学習指導案をもとに、より実践的な模擬授業を実施し、授業実践の基礎を確認する。相互評価では、学習課題の設定や思考を深める発問の工夫に着目する。
- 9 実習に向けた模擬授業演習(3)
教育実習で担当する教科・単元内容で作成した学習指導案をもとに、より実践的な模擬授業を実施し、授業実践の基礎を確認する。相互評価では、ICT機器の活用方法や資料の選定・提示・読み取らせ方の工夫に着目する。
- 10 実習に向けた模擬授業演習(4)
教育実習で担当する教科・単元内容で作成した学習指導案をもとに、より実践的な模擬授業を実施し、授業実践の基礎を確認する。相互評価では、板書の仕方・構成の工夫やワークシート作成の留意点に着目する。
- 11 実習に向けた模擬授業演習(5)
教育実習で担当する教科・単元内容で作成した学習指導案をもとに、より実践的な模擬授業を実施し、授業実践の基礎を確認する。相互評価では、言語活動の適切な設定、評価規準や方法の工夫に着目する。
- 12 実習報告と振り返り
実習終了後に、受講学生から実習報告をし、相互評価と講評を通じて教育実習の成果と課題を確認する。
- 13 教育実習の学修の総括
受講学生の実習報告、各自の成果と課題の確認を踏まえて、フィードバックとして教育実習全体の学修の到達度と課題についてコメントする。

■授業の方法

3年次の事前指導では、教員として欠かせない基礎知識を講義と模擬授業演習を通じて確かめる。4年次の事前指導では、教育実習で行う単元の学習指導案の作成、模擬授業実践、評価が中心となる。4年次の事後指導では、教育実習の振り返りと自己評価、相互評価を行う。

■予習・復習

予習：毎回のテーマに関する情報収集と収集内容のまとめを行う。

復習：既習事項の要点を整理し、追究課題をノートにまとめる。

受講学生に模擬授業の実践を求めるため、そのための学習指導案作成の予習や事後評価の復習も必要となる。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

学期試験、課題など50%、模擬授業やグループワークなど授業中の取り組み状況50%の割合で総合的に評価する。なお、この科目は、教育実習と不可分であることから、教育実習を行うことが前提となる。

■教科書・参考書

教科書：中学校・高等学校の「学習指導要領」、授業中に配布するプリント

参考書：中学校・高等学校の「学習指導要領解説」、その他は必要に応じて授業中に指示する。

■関連する科目

「教職論」「各教科教育法」「教職実践演習」などの修得が必要であるが、各教科の指導内容に関わるすべての科目が関連科目となる。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、いずれも公立高等学校の教員として学習指導や生徒指導、教育実習学生の指導にも当たった豊富な実績を持つ。こうした実績を、模擬授業演習を含めた当該科目での指導に活かしていく。